

調査に参加した感想 上村賀代子さん

2023.3.1 スーパー調査好事例報告会

こんにちは 上村賀代子です。よろしくお願いします。

見た目よりは若いです。身体的には実年齢+20才というところです。

よたよたしています。支えがないと立ちづらいので、この姿勢で失礼します。こんな私が調査で、スーパーの中をあちこち移動することは、今だから言えますが、最後まで持つかなと不安でした。それでも、調査があまりにも楽しく、面白く、わくわく感が止まらなかったのので、途中ギブアップせずに済みました（計6店の調査に参加していただきました）。

色んなお店がありました。全ての野菜が、完璧にプラ包装されてる所もありました。残念な思いにとらわれましたが、おかげで迷うことなく調査票に000と書き込み、調査は早く、楽に済みました。

私は、生活クラブ京都エルコープで、調味料を買っています。容器がガラスびんで、リターナブルびんが多いからです。リターナブルびん、リユースのビンです。京都市が勧めている2Rのリデュース、リユースに沿っています この仕組みをスーパーに求めることは無理だと思っていましたが、普段行っている店に、リユースの取り組みが始まっていることを今回、知ることができました。まだまだ限られた商品でしたが、画期的なことです。ぜひ、広がってほしいと願います。

今回の調査項目に、軟弱野菜のほうれん草や小松菜は入っていませんでした。収穫した直後から、へたりやすい軟弱ものの野菜たちです。日本では、どんな野菜でもシャキッと売られているのが当たり前になっていて、売る側も特別なプラスチックや充填用のガスを工夫し、サービスに努めています。自然食品店や有機野菜をファーマーズマーケットに出している農家さんに、プラ包装を無しにすることはできませんか、と聞いたことがあります。さすがに、軟弱野菜では難しいとの返答でした。買う側が「少々へたっていても構へん、構へん」という考え方なら問題はないのですが、現実はなかなかです。ところが、堀さんからフランスでは野菜はプラ包装無しで売られている、また、今はそうでなくても段階的にプラ包装無しにしなければならない法律があり、施行された、と聞きました。フランスでできるなら、日本でもできるはずです。そう期待したいです。

こういう調査は、受ける側のお店にとっては、何かしらあら捜しをされるのではないかと、後から指摘をされるのではないかと、不安な要素があったと思われます。それでも、たくさんのお店が協力してくれました。これは、堀さんの相手を攻めない、良い所を捜し出す柔軟なものの考え方、その考え方がにじみ出ている物腰、話し方にあった点が大きいと思います。少なくとも、私は、コミュニケーションの取り方の参考にさせていただこうと思いました。（横で見えていたからといって、すぐに身に付くわけではないですが）

次の世代、そのもっと先の世代のために、今、私たちができること、しなければならないことにつながる、そうゆう調査に関われたことが、私のワクワク感の源になっています。参加させていただきありがとうございました。